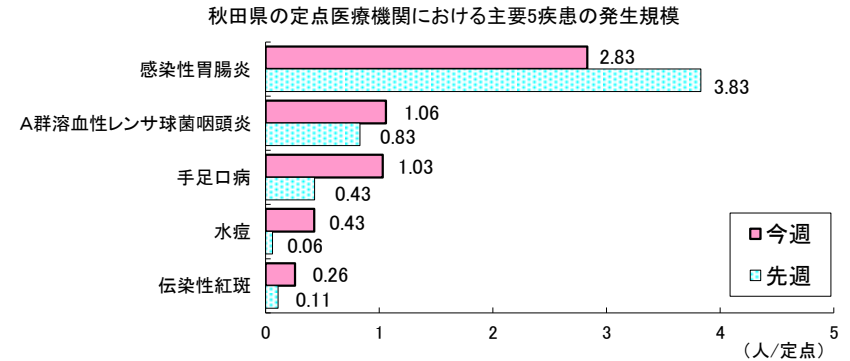




【第28週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で26%減少しています。保健所別では、大館、秋田中央、由利本荘、大仙で増加、秋田市、北秋田、能代、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大仙、横手、湯沢で増加、大館で同規模、能代、秋田中央で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で2.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、由利本荘、大仙で増加、北秋田で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減			
RSウイルス感染症		0.03	↗																			0.25	↗							
インフルエンザ	0.04	0.07	↗	0.09	0.09		0.14	0.14			0.67	↗																		
咽頭結膜熱	0.11	0.14	↗																0.75	0.75		0.25	0.25				0.25	↗		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83	1.06	↗	0.86	1.57	↗	0.25	0.25					0.67		↘	2.25	1.75	↘				1.00	2.00	↗	0.33	1.00	↗	1.50	1.75	↗
感染性胃腸炎	3.83	2.83	↘	6.29	3.29	↘	3.00	3.25	↗	7.00	3.00	↘	5.00	2.00	↘	1.75	2.25	↗	0.25	1.00	↗	3.25	4.75	↗	4.67	2.67	↘	3.50	2.75	↘
水痘	0.06	0.43	↗		0.29	↗		1.25	↗		0.50	↗				0.50	1.75	↗												
手足口病	0.43	1.03	↗	1.29	2.57	↗	1.00	3.25	↗	1.00	0.50	↘								0.75	↗		0.25	↗						
伝染性紅斑	0.11	0.26	↗	0.14	0.29	↗	0.50	1.00	↗	0.50		↘		0.67	↗													0.25	↗	
突発性発しん	0.37	0.26	↘	0.43	0.14	↘	1.00	1.25	↗	0.50		↘	0.33	0.67	↗		0.25	↗	0.25		↘			0.33		↘	0.50		↘	
ヘルパンギーナ	0.29	0.20	↘	0.29	0.14	↘				1.00	0.50	↘										1.00	1.25	↗	0.67		↘			
流行性耳下腺炎		0.06	↗		0.14	↗														0.25	↗									
川崎病	0.03	0.03																		0.25	↗			0.33		↘				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.14	↘	0.67	0.33	↘				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎		0.13	↗					1.00	↗							*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.13	↘	1.00		↘				1.00	1.00					*	*					2.00		↘						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.13	0.13														*	*								1.00	↗	1.00		↘	

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾患に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
 ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
 ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、大館保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から6人、秋田中央保健所管内から2人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-27週 全国	秋田	28週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	10888	53	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	3		
	細菌性赤痢	50	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	1154	6	2
	腸チフス	18		
	バラチフス	11		
四類	E型肝炎	263	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	250	7	
	エキノкокクス症	7		
	黄熱			
	オウム病	11		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	49		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

トピック

<夏の敵 蚊にご注意!!>

夏はレジャーや花火といった野外活動を楽しむ機会が多くなる一方で、“蚊に刺される”という不快な思いをする季節でもあります。蚊に刺されると痒みが生じるだけではなく、感染症という重大な事態を招く場合もありますので、油断は禁物です。

蚊は様々な感染症の病原体を媒介しています(表)。大部分は海外で発生している感染症ですが、海外旅行等の際に渡航先で蚊に刺され、帰国後に発症する例もあります。さらに、デング熱のように、海外で感染した人が国内で再び蚊に刺されることにより、国内で感染が広がった事例も起きています。

■予防方法

予防には蚊に刺されないことが第一です。屋外では可能な限り素肌の露出を避け、必要に応じて市販の虫除けスプレーを使用するなどしましょう。また、蚊そのものの発生を防ぐことも重要です。蚊は、身の回りの水場を利用して増えます。屋外に放置されたままのバケツや鉢植えの水皿、腐タイヤ、おもちゃ等に溜まった水は、格好の発生源となります。周囲にこのような場所が無いかを確認し、水を取り除くようにしましょう。

表 蚊が媒介する主な感染症

疾患名	主な症状	主な発生地	特徴など
デング熱			・重症化すると出血やショックなどを示し、死亡する場合があります。
チクングニア熱	・発熱・発疹 ・結膜炎 ・筋肉痛 ・関節痛 ・倦怠感 ・頭痛など	東南アジア、アフリカ、中南米など、熱帯・亜熱帯地域	・デング熱よりも潜伏期間が短く、旅行中に発症する場合があります。
ジカウイルス感染症			・症状は一般的に軽いですが、妊娠中に感染すると胎児に先天性障害を起こす可能性があります。 ・輸血や性行為によって感染する場合があります。
ウエストナイル熱	・高熱 ・頭痛 ・筋肉痛 ・発疹	アフリカ、ヨーロッパ、中東、アジアなど広い地域	・感染者の80%は不顕性感染*ですが、まれに重篤な症状(脳炎、髄膜炎など)を示す場合があります。
マラリア	・発熱・悪寒 ・関節痛 ・筋肉痛 ・嘔吐 ・頭痛	アジア、オセアニア、アフリカ、中南米地域	・流行地に渡航する際は抗マラリア薬の予防内服が勧められています。 ・脳症や重症貧血など様々な合併症があり、死に至る例も少なくありません。
日本脳炎	・高熱 ・頭痛 ・嘔吐 ・意識障害 ・けいれん	アジアで広く発生(国内でも西日本を中心に毎年発生)	・大部分は不顕性感染*ですが(発症率0.1~1%)、発症した場合、重症例や死亡例が半数以上に及び、後遺症も高率に残るとされています。

*不顕性感染:感染しても症状を示さないこと

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
秋田市	障がい者支援施設ほくと	7/11	53名のうち17名	44名のうち3名	20名	6/23 ~ 7/11	咽頭痛、咳、発熱、鼻汁



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	大館(1.25)、秋田中央(1.75)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		